

JA全農北日本
くみあい飼料㈱

「さいしよのミルク」の リニューアルについて

「さいしよのミルク」リニューアルの3つのこだわり

1. **飲みやすさへのこだわり**
高品質の原料初乳製剤と良質な乳原料を多く使用し、「苦味」「渋味」を抑え、自然なミルクの香りとコクを実現しました。
2. **溶けやすさへのこだわり**
「さいしよのミルク」は、顆粒状にすることでダマになりにくく、抜群の溶けやすさを実現しました。
3. **免疫成分へのこだわり（免疫グロブリン80g/1袋あたり）**
JAグループでは、免疫成分を多く含む「さいしよのミルク」を実際に子牛に給与し、理想とされる数値を超える抗体移行を確認しています。



パワーアップした「さいしよのミルク」をぜひお試しください。

配合飼料安定基金加入推進中！

お問い合わせは、JA全農北日本くみあい飼料㈱ 福島営業所まで

鶏の七味唐辛子焼き

1月にお届けする材料を使用したレシピです

JA ぐれあい食材
おすすめ
レシピ



- 材料は1人分が基準になっております。
- 盛付例はイメージです。
- ※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。

材 料

- ・東北産鶏トロ（背肉）手羽中セット……200g
 - ・ししとう……6本
 - ・ごま油……小さじ2
- A
- しょう油……大さじ2
 - すりおろしにんにく……小さじ1/2
- B
- 塩、こしょう……各少々
 - 七味唐辛子……小さじ2

作り方

- ①ししとうの腹に切り込みを入れる。
- ②ビニール袋に解凍した鶏肉とAを入れて揉み込む。
- ③フライパンにごま油を熱し、②の皮面を下にして並べて中火で焼く。
- ④鶏肉から脂が出てきたらフライパンの端に寄せ、①を加えて焼く。
- ⑤④の全面にこんがり焼き色が付き、中まで火が通ったら、ししとうを取り出す。
- ⑥Bをまぶし、ししとうと一緒に器に盛り付ける。

今月の主な行事予定

1月4日	管理部	平成31年全農仕事始め式
1月4日	園芸部	花き市場初セリ
1月5日	園芸部	福島市場初セリ
1月15日	畜産部	和牛子牛初セリ
1月18日	燃料部	JA-SS愛LOVEサンキューフェア冬の陣抽選会
1月21日	畜産部	枝肉初セリ

ラジオ福島 「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分
放・送・予・定

1月14日 営農企画部 全農担い手支援対策

1月15日 園芸部 営農相談室(養液土耕栽培について)

1月21日 生産資材部 水稻育苗箱処理剤の上手な使い方

1月28日 営農企画部 農業技術センター業務

営農企画部

お米の安定生産をめざして

農業技術センター 技術常任参与 荒川市郎

秋の収穫作業も終わり、30年度の反省と新年度の計画について考える時期だと思えます。平成30年は、高温や干ばつなど変動の多い1年でした。JA全農福島では、業務用契約栽培米の技術実証に取り組んでおり、年末から検討会を開催しています。この取り組みの中で、当初目標とする収量・品質を確保した事例がありましたので、一部を紹介します。

「収量と収量構成要素」

会津地方では、早生品種で精玄米重が10a当たり600kg～760kgを確保した例が見られました。多収の要因は、穂数500本、㎡当たり穂数3万7千粒を確保し、玄米千粒重が23gとなったことによります。

近年、疎植・窒素の減肥の傾向にあつて、穂数の確保ができたことは、基肥に速効性窒素を必要な量投入したり、側条施肥を併用したことによります。

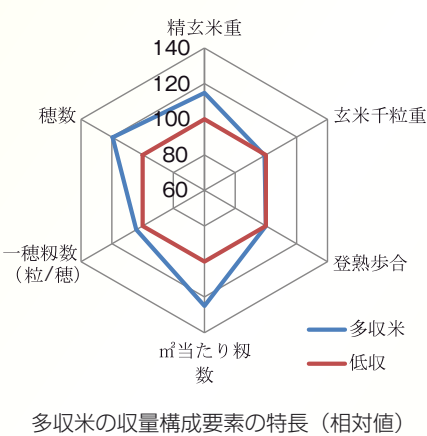
一穂粒数の確保には、高温による生育ステージの前進化に合わせて、適切な追肥を実施したこと、発酵鶏ふん等を活用した土作りによって、高温下でもイネが凋落しなかったと考

えられます。

いわき地方では、耐倒伏性の強い中晩生種を導入し、10a当たり600kgを超える収量を確保した例があります。この例では、栽植密度をやや疎にして、生育ステージにあつた基肥一発肥料を上手に使い、一穂粒数100粒を超える大きな穂を作り、穂数を確保するとともに省力化も同時に達成しています。

「今後の取り組み」

平成30年の結果を踏まえ、土壌分析の結果と水稻の生育データを元に、施肥の改善点を明らかにして、安定多収をめざした栽培歴の作成に取り組んでまいります。



多収米の収量構成要素の特長（相対値）

東北地方の長期予報

＜予想される向こう1か月の天候＞

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年に比べ曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。東北日本海側の降雪量は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、低い確率60%です。

＜気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞

12月22日～1月21日			
【気 温】東北地方	40	40	20
【降 水 量】東北日本海側	20	40	40
【降 水 量】東北太平洋側	40	30	30
【日照時間】東北日本海側	40	40	20
【日照時間】東北太平洋側	30	30	40
【降 雪 量】東北日本海側	20	40	40

＜気温経過の各階級の確率(%)＞

12月22日～12月28日	20	50	30
12月29日～1月4日	60	30	10
1月5日～1月18日	30	40	30

凡例： 低い（少ない） 平年並 高い（多い）
(仙台管区气象台 発表)

編集後記

「平成」も残り数ヶ月。新しい年号となる年を迎えることに、感慨深いものがあります。

「平成」という年号には「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味が込められていたそうです。今までの年号のなかでは4番目の長さを誇るそうで、激動の時代とも言われた昭和と比べれば平和と呼べる時代だったかもしれませんが、一方で東日本大震災など、特に近年は大きな自然災害に悩まされたという印象もあります。

これから迎える新年号は、どのような時代となるのでしょうか。未来への期待と不安、それぞれが千差万別の想いを抱きながらのことと思いますが、まずは2019年が豊作の一年となることを願い、また健康にも留意して一日一日を大切に過ごしたいものですね。本年もどうぞよろしくお願いいたします。